

グループワークテーマ

令和5年施行 職員採用試験

指示があるまで開いてはいけません。

注 意

1. 問題は**1題**です。
2. グループ討議時間は**50分**です。
3. この冊子は持ち帰ることができます。

問 題

東京都は、子供や子育て家庭が抱える様々な困難に寄り添い、子供目線に立って、全ての子供の笑顔を育むチルドレンファーストの政策（子供の目線からの政策展開）に取り組んでいる。あなた達は、誰一人取り残さない視点から、子供へのサポートを強化するため、データやデジタル技術を活用した具体的な方策を検討するプロジェクトチームに選ばれた。

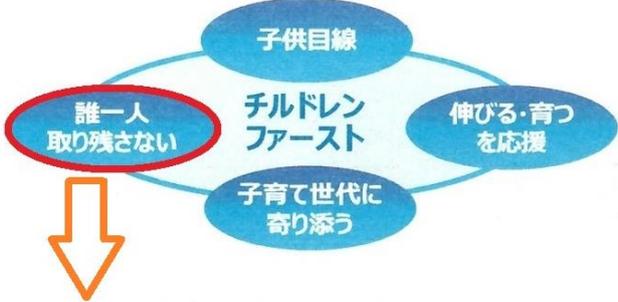
様々な困難を抱える子供に対し、一人ひとりに寄り添い、政策分野の垣根を越えて、切れ目のない支援を重層的に展開するため、どのように取り組んでいくべきか。資料1～3を参考に、チームで議論し、東京都職員として職場の上司に説明するために必要なポイントをホワイトボードにまとめなさい。

東京都のチルドレンファーストの取組（概要）

チルドレンファースト

子供が抱える困難は多様化・複雑化

子供や子育て家庭が抱える様々な困難に寄り添い、
子供目線に立って、全ての子供の笑顔を育む
チルドレンファーストの政策へとバージョンアップ



誰一人取り残さない視点から、子供へのサポートを強化

様々な困難を抱える子供に対し、一人ひとりに寄り添い、政策分野の垣根を越えて、切れ目のない支援を重層的に展開



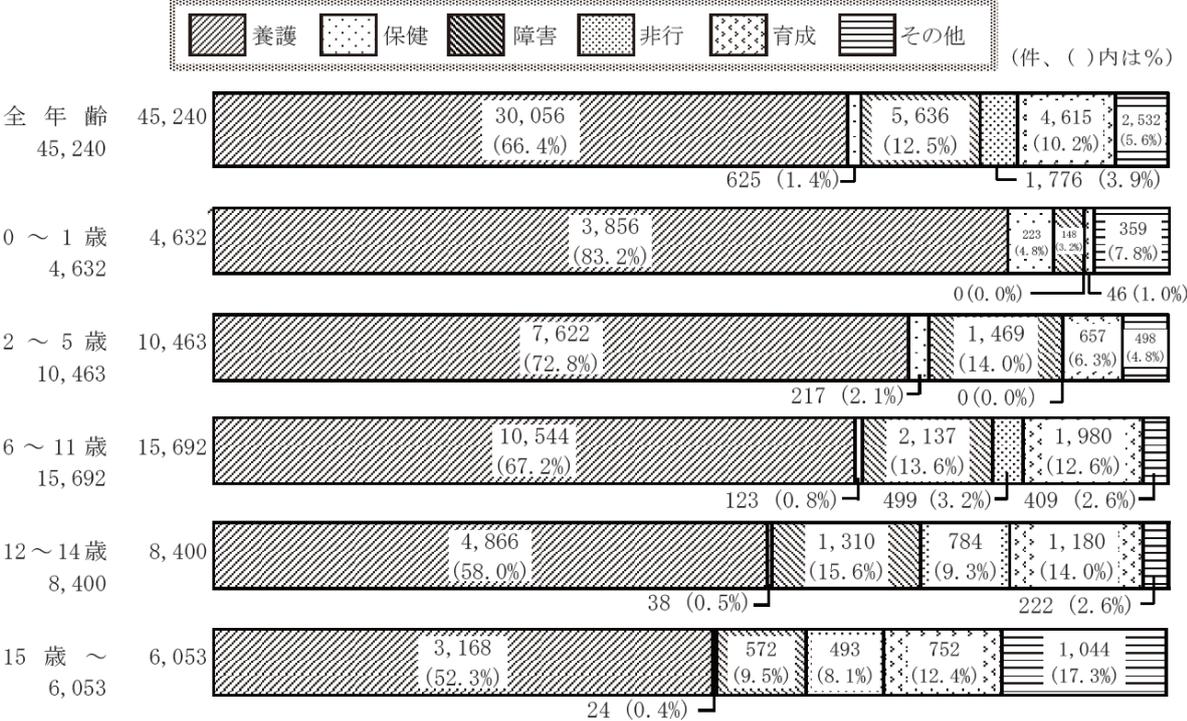
子供目線に立った相談・支援・居場所づくりを進め、福祉・教育・地域が一丸となってサポート

出典：東京都「『未来の東京』戦略 version up 2022」（令和4年2月）より作成

資料 2

東京都児童相談所における年齢別の相談内容別構成割合

児童相談所が令和3年度に受理した相談件数を、児童の年齢層別に相談内容別構成割合を示したものの。



出典：東京都児童相談所「事業概要2022年（令和4年）版」（令和4年9月）より作成

資料 3

世話をしている家族のいるヤングケアラーが
学校や大人に助けてほしいこと、必要な支援

※ この部分は、著作権の関係により、掲載できません。

出典：(厚生労働省「令和2年度 子ども・子育て支援推進調査研究事業」) 三菱UFJリサーチ&
コンサルティング「ヤングケアラーの実態に関する調査研究報告書」(令和3年3月)より作成